

製品名: SOD2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21462**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:25kD;Observed MW:22kD

抗原情報

遺伝子名	SOD2
別名	SOD2;Superoxide dismutase [Mn], mitochondrial
遺伝子 ID	6648.0
SwissProt ID	P04179
免疫原	ヒト SOD2 の合成ペプチド

背景

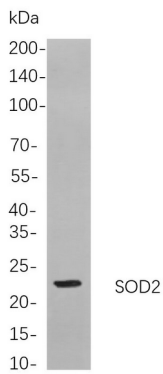
細胞局在: ミトコンドリアマトリックス。この遺伝子は鉄/マンガンスーパーオキシドディスムターゼファミリーのメンバーである。ホモテトラマーを形成し、サブユニットあたり 1つのマンガンイオンと結合するミトコンドリアタンパク質をコードする。このタン

パク質は酸化的リン酸化によって生じるスーパーオキシド副産物に結合し、過酸化水素と二原子酸素に変換する。この遺伝子の変異は、特発性心筋症 (IDC) 、早期老化、散発性運動ニューロン疾患、および癌と関連付けられている。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。関連する偽遺伝子が1番染色体上に同定されている。[RefSeq 提供、2016年4月]

研究分野

-

画像データ



SOD2 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。